

## 【1】子どもたちがわくわくする学校ってどういう学校

### 1. 学校の居心地

#### (1) ありのままで安心

生徒がお互いの良い所や、お互いに助け合わないといけない点を把握していて、安心して教室にいられる学校

自分の素が出せる

自分は自分でいいんだ!ってありのまま過ごせて主体的に動ける学校

大人(校長先生)が自分を見ていてくれる。自分を知ってくれているという安心感がある

ありのままの自分で居ていい空気があり、すべての子どもに居場所がある学校

一人一人がありのままで受け止めてもらえる 心の居場所がある学校

#### (2) 否定されない

誰一人として否定される事のない学校

自分の意見や行動を否定されない学校(何故そう考えるのか、何故そうするのかを伝えることができる)

みんながお互いを否定しない学校

どんな意見も否定されず受け入れてくれる

意見を否定されない学校

怒るのではなくお願いで伝えてくれること

#### (3) 言える!

自分の思っていることや考えていることを素直に話せる。きいてもらえる。話さなくてもいい雰囲気もある。

子どもが自分の意見を聞いて、話して、考えられる

自分の考えが言える。

自分の意見を言える

言いたいことが言える

「こんなことやりたい!」って言える!!

したくないことはしたくないと言える

先生や友だちに安心して何でも話せる学校

安心して言いたいことが言える 言いたくないことが認められる

何でも話せるともだちや先生

子ども達が大人の顔色を見ず、自分の思いを表現できる学校

先生に本当の気持ちを伝えられる(先生を信頼できる)

子どもの意見が尊重される場所や機械があり、実現される学校(でも全部は難しい…)

誰にも決めつけられる事がない意見を自由に言える環境がある

何を言っても大丈夫っと心から、子どもが思える学校  
いつも話し合える学校

(4) 緊張しない、ほっとする

きんちょうしない学校

緊張がなくて明るい雰囲気の学校

何かに挑戦する緊張以外はホッとしてくつろいでいられる

友達を作らないといけない、皆と仲良くしないといけないというプレッシャーのない学校(1人であること、話さないことが尊重され放っておいてくれること)

(5) 「私」が尊重される

皆で一つの事を一緒にしなくても、したい人だけすることが許される学校(運動会、文化祭などの行事も含めて)  
お互い尊重しあう。

自分の思いや行動を尊重してもらえる

特性を理解してもらえるところ。

自分の個性を認めてもらえ発信できる教室

個性を認められる学校

全ての子供の個性が生きる学校

(6) 安心して安全

安全、安心が守られる。

安心できる居場所

安心して自由に関言できる、受け入れてもらえる

明るい居場所がある

心身の危険がない。

(7) 認められる

認められる

認められているという雰囲気が味わえる

一人一人を認める 一人一人が認める

人と比べず、自分の個性を認めてくれる場であること

自分が自分らしくいられる学校(2)

自分も、お友達も、自分らしく居られる

そのままの自分を受け入れてくれる学校

ありのままを受け入れる

ちゃんと話をきいてくれて、否定されない学校

自分の話を聴いてくれる

自分を1番認めてもらえる場所

(8) 主人公

自分が主人公になれる学校

自分が主役になれる

安心できる学校

(9) 失敗OK

何をしても、居場所がある学校

失敗してもOK

できなくても大丈夫と思える

失敗を楽しめる学校 正解だけを求めて評価するのではなく

(10) ほか

みんなが同じことをしているが、目的は違って良い

1人じゃなくてみんなで!!

保育園のような学校

2. 〇〇ができる学校

(1) 自由

自由な学校(2)

子どもが自由 何もおしつけられない

もっとわるく自由に

子ども同士で過ごしたい、過ごせる子もいれば、大人に話を聞いてもらいたい子もいる。多くの大人の見守りがある中での自由

自由に生き生きと過ごすことができる場所

(2) 好きなことを

好きなことができる(4)

好きなことがわきでる 好きなことをシェアできる

自分の好きを伝える授業がある

好きな事をしていい「時間」がある

好きなことだけ学べる学校

好きな事をしたり、選べたり、自由がたくさんある学校

好きなことやりたいことができる学校

自分の好きなことを伸び伸びと出来る学校

(3) やりたいことを

やらされるではなく、やりたいを尊重してくれる  
子ども達が、自分のやりたいことを全力でやれる学校  
子どもたちの「やりたいこと」を叶える  
やりたいことができる学校  
やりたい事が自分で選べる  
やりたい!と思ったことが、子どもたちの力で実現できる  
自分のわくわくすることができる学校

#### (4) 学びたいことを

自分で学びたいこと(課題)を選べる(自分で選択したのだからがんばれると思う)  
子どもが、学ぶことをえらべる。好きなことを追求できる  
自分のやることを自分で選んだり決めることができる学校  
自分が学びたいことを学べる学校  
子ども達が、決めた(行事)やりたい事をする  
自分でその日に勉強したい学科を選ぶことができる  
自分たちで自分たちの学びをつくれる学校

#### (5) 自分で

自分の無理のない姿勢、環境を選択して学べる学校  
自分で考えることができる自由がある  
自らが考え行動できる(実現する)  
自分らしさを発揮できる学校  
生徒が自分で考える、主体的に動く取り組みが多い授業がある  
主体性のある学校  
子供が主体的に考えて行動する学校

#### (6) 挑戦できる

挑戦できる  
自分から挑戦したいと思える環境

#### (7) 多様性

大勢で盛り上がることも静かに過ごすことも守られる  
意見をいう人もパスも同じ価値  
自主性や長所(個性)を育てることができる学校

#### (8) 一緒に

いっしょにつくれる  
楽しいイベントみんなが主役

みんなと一緒に遊べる、話せる

(9) 楽しく面白い

自分の「楽しみ」が必ずある

たのしくわかりやすい授業

楽しい。難しく感じる授業も、楽しいと思える

授業が楽しい

授業がおもしろい

楽しい環境で学ぶことができる

楽しいことがいっぱいある

楽しいことを一緒に楽しめる学校

子ども達全員が楽しい、ワクワクするって思える学校

おもしろいこと わくわく楽しいこと びっくりするようなこと ゆうきがわいてくるようなこと いいこといっぱいある

せめて週に一回は、心の底から大笑いできる学校

楽しみを見つけられる学校

学校に行くとわくわくすることがある(と思える)学校

すべての子どもが「あー面白かった…」と言って、帰っていく学校

授業が楽しい→分かる授業

みんなの「すき」があふれる学校

勉強がおもしろい

友だちといっぱいあそべて、たべることもたのしい学校

たくさん遊べる!

発見がある

(10) 一人が輝く

一人一人が輝く瞬間がある(場所がある)

自分の得意な部分が活かせる場面がある

(11) 行きたいと思える

行きたいと思える 行くと楽しい

行きたいと思う学校

みんなが行きたいと思える場所

3. 〇〇が出来る学校(具体的に)

(1) 校則・決まり

校則(ルール)を自分達で決める

子どもたちが主体となって校則、行事などを決められる学校  
「きまり」は自分たちで決めたことだけ  
ルールは子どもが決める

#### (2) 時間などの自由

出入りが自由な.....  
途中で帰宅出来る  
宿題が自由 登校時間が自由  
好きな時間に行ける学校  
学校にいる間に宿題ができる(言え(家?)はくつろぐ場所に)  
時間は決めずやりたいだけやる  
余白がある学校 時間、場所  
時間の余白が沢山ある、忙しすぎない、スケジュールに追いつてられない

#### (3) 自分で決める

自分でやりたい事を決められる  
時間割を自分で決められる  
時間割はそれぞれ決める 座り方は、それぞれ  
1人ずつやりたいじぎょうを1人でやる  
生徒・児童だけで何をやるか決めた時間がある  
自分が学びたいことが学べる  
自分の好きな授業を受けられる あるいは好きな勉強を自由にやらせてくれる学校かな  
個々に好きな分野で学べる時間がある  
興味があることを学年をこえてまなべる  
友達と協力しながら自分たちのやりたいことが出来る  
自分の好きなこと得意なことを教え合える学校  
子どもが担任を選べる  
先生を選べる  
自分が決めた先生に教えてもらえる学校  
好きな先生から学べる学校  
カリキュラムを自分で決められたり、なぞなぞみみたいな授業も楽しい  
好きな席で学習ができる(今の企業のフリーアドレスみたいに。)  
好きな教室に行って良い

#### (4) 遊べる

遊べる学校  
校庭で自由に遊べる  
夏休みも自由登校がある

休み時間が長い

休み時間に外に出ておもいっきり友達とあそぶ

休みじかん自由にすごせる ひとりでも、みんなでも

寝転ぶ権利

おとまりかいができるがっこう

みんなでお泊り会ができる学校

レクリエーションが多い(毎日ある)

(5) 大人と一緒に

上下関係ではない人間関係のつくりかたを学べる学校

上級生や先生から学べる(支援が必要な子の対応や、困っている子の対応の仕方など)

子どもの困り事を大人も子どもも一緒に考える時間がある

#### 4. OOがいる学校

(1) 一緒にいたい

会いたい人が居る学校

学校にいっしょにいたいと思える人がいること

自分が好きな先生や友達がいる

わたしのことを待っていてくれる先生や友だちがいて みんなに会いたくて自分から走っていくような学校

(2) ともだち

仲の良い友達や仲間がいる

気の合う友達

友だちがたくさんいる

友だちがいる

友だちがいる。仲間がいると実感できる学校

(3) 大人

色々な大人と関われる学校

いろんな人が来る学校

地域の人と関わりを持つ時間がある

ヒーローがいる学校

先生が好き

自分のことを受け入れてくれる大人がいること

かわいいねって言ってくれる人が居る学校

先生の話が短い学校

政治家や地域のえらい人など変な大人が来ない学校

## 5. ○○がある学校

### (1) 自然

田んぼのある学校

大自然から学ぶ学校

野菜作り、魚とりなどができる学校

野菜作りをして収穫して食べる

食べたいものを作れる

動物の飼育をする

自然とふれあえる、動物がうろうろしている

### (2) 体験

体験をとおして学ぶ 座って話を聞く時間は少ない

座った学びだけでなく実体験できる

理科の実験や外に出てフィールドワークを体験する

地域の方や外部の方を通じて多様な体験ができる学校

### (3) 居場所

色々な居場所がある学校 教室か不登校かの2択ではなく

### (4) 遊び・仕事・交流

遊びから学びを得られる学校

教科学習以外も学べる学校 地域の人との交流とか

仕事ができる学校

地域の人と関わる時間がある

雪合戦ができる

### (5) 給食とおやつ

休憩時間におかしが出る学校

給食を決める(メニュー決め)

給食も好きなもの(皆それぞれ)の日がある

給食がおいしい(3)

食べたいだけおかわりできる

お食事の時間はカフェテリアみたいところで楽しくみんなと 一人でも食事できるところがあるといい!

## (6) 施設

かくれがのある所

学校にマンガがある

好きな乗りもので移動できる

せまなくて、ひろい!!

老人ホームと同じ施設に学校をつくる

## 5. OOがない学校

### (1) 強制がない

せねばいけない!!あれダメ、これダメがない!!

意思表示を強制されない

自由を尊重され、しびりが無い

皆んなと同じでなくても良い

机イスのない学校

### (2) 評価・競争がない

競争しない させない学校

成績をなくす(伸びたところを伝える)

通知表がない 休んでもいい やらなくてもいい

テスト・宿題がない

### (3) 宿題・やらねばいけないことがない

宿題をやる必要をなくす

宿題はなし。学校の中で終わりにする。

やらなければならないことが最小限な学校

読み書き計算は最小時間で。

さっさと帰れる学校

### (4) 時間割がない

決まった時間割がない方がいい

チャイムをなくす。時間割を見直す(こま切れの教科をやめる)

### (5) いじめがない

いじめがない

悪口やいじめがない

## 6. 先生や大人が〇〇な学校

### (1) 対等

子どもたちと先生が対等な立場でいられる学校

教室のレイアウト \*先生が前に立つ/児童(立ち位置が違う) → \*児童と先生(対等)

教師(大人)が人として関わってくれる学校

### (2) 楽しむ

教員も子どもたちと一緒に楽しんでいる・学んでいる

大人(先生も)(保護者も)が楽しそうな姿がみえる場

先生がニコニコしている

大人がワクワクする学校

わくわくすることをしてくれる大人のいる学校

### (3) 遊ぶ

先生も子どもも一緒になってたくさん遊べる学校

先生も一緒に遊んでくれる

先生が休みじかんに一緒に遊んでくれる

### (4) 一緒に考える

大人が同じ目線で考えてくれる

大人と子どもが対等、わからないことは子どもにきく

困ったらみんなで(大人も子どもも)話し合ってみる

先生ではなく、そばで一緒に学ぶ大人になる。

保ゴ者や教職員がわくわくする学校も一緒に考える学校

### (5) 否定しない・笑顔

否定せずに何でも話を聞いてくれる先生がいる学校

大人も子どもも、否定されず…(「へーそーなんだ!!」、「おもしろそうだね」とか)認め合える場があるといいな

子どもと大人が対等な立場で、意見を言い合うことができること。(職員間も役職問わずフラットな関係性)

子どもの意見を一人の人として全ての先生が受け止めてくれる

心の内を聞いてくれる大人がいる学校

### (6) 怒らない、笑顔

先生は、決しておこらない!

先生がいつも笑顔

(7) えこひいきしない

先生や大人が、子どもを区別したり、えこひいきしたりしない学校

(8) 子どもも先生

子どもも(大人に)教える学校

子どもが先生になる授業がある

(9) 先生のゆとり

教員の人員が足りていること(教員のゆとりがある) 定員にも満たず、危険水域を越えていて、学校が疲弊しています。

## 7. その他

学校に行ってもOK行かなくてもOKな社会になってほしい